

決算委員会特集

民生費

特養老人ホーム運営費への助成

概要…新島特養老人ホームの運営は構造上の赤字が毎年1千〜2千万円あり、抜本的な改革が求められている。

問 抜本的な構造改革はないか？

答 現在老人ホームの構造は、旧棟34床とユニットタイプ14床の計50床からなり、構造上必ず赤字となる。しかし行政の責任として支援し続けなければならぬと考えている。現在シヨートステイを少なくし、本入所のベッド数を増やす手続き中であり、ヘルパー事業も含めて収益を上げる取り組みを模索している。

観光費

地域休養施設に対する住民からの要望

概要…地域休養施設（間々下温泉施設）には男性用露天風呂に水風呂が設置されているが、女性用には設置されていない。

問 住民からの要望で間々下温泉施設の女性用露天風呂にも水風呂の設置を求める声がある。

答 検討する。

消防費

太陽光・蓄電池設備設置事業

概要…かねてから式根島に緊急時の太陽光蓄電施設を作る計画があり、予算4860万円を計上してあったが、今回取り下げられている。

問 この計画がなくなった経緯は？

答 従来の計画は太陽光パネルと蓄電施設の建設を進めていたが、さまざまな検証をした結果、当初計画した効果が認められなくなったため、根本的に計画を変更したことによる予算の削除であり、計画そのものがなくなったわけではない。発想を変えて「蓄電池を電気自動車に置き換え、充電を太陽光パネルで補う」といったものを考えている。

連絡船事業費

備品購入費

概要…一般運行管理費のうち連絡船代船購入費として4550万円が計上されていた。

問 購入はいつ決定したのか？

答 5月30日の運営委員会、6

月7日の代船購入についての審議を経て、村長判断で予算計上した。

問 定員数や大きさ、船体等の詳しい情報が欲しい。

答 候補としては小笠原で使用していた観光船で、船体はFRPで全長19・85m、総トン数18トン、定員は40名、エンジンは2基掛、また造船は現行の連絡船と同じIH Iであるため信頼性もある。

問 許可や環境の違いもあると思うので慎重に進めてほしい。



▲代船として購入予定の船